

心が温まるあいさつ

泉中学校 二年 横瀬 由浩

僕がお世話になっているこの地域には良いところがあります。それは、あいさつが活発にできているところです。あいさつが地域の良いところだと思ったのは、あいさつをすることによって心が温まるからです。

僕にはそう感じた出来事がありました。それは、近所の人や身近な人に偶然会ったとき、その人が笑顔であいさつをしてくれました。登下校のときや、外へ出かけるときなどに笑顔であいさつをしてくれて、とても心が温まりました。また、近所の人や身近な人だけでなく、近所の人の知人や、修理工事などの仕事をしている方も、あいさつをしてくれました。

そして、もう一つあいさつが良いところだと思った出来事がありました。それは、学校で行う「あいさつ運動」です。あいさつ運動とは、学校の門の前などで登校する人に、生徒会の役員やその日の担当の生徒があいさつすることです。僕は、このあいさつ運動であいさつをする側とあいさつをされる側の両方を経験しました。どちらのときも、あいさつをしあうと心が温まり、とても良い気持ちになりました。

そこで僕は、あいさつが活発にできるといふこの地域の良いところを守りたいと思いました。なぜそう思ったのかというと、この心が温まる気持ちをほかの人にも感じてほしいからです。これからもあいさつをしていけば、たくさんの人にこの気持ちを感じてもらえると思います。

そのために、僕には何ができるかを考えました。思いついたのは、僕たちも笑顔であいさつをしていけば、これからもこの地域であいさつが続いていくのではないかということでした。あいさつ運動やあいさつをされたらあいさつを返すことを続けたり、自分からあいさつをしたりすれば、その人からさらにあいさつが広がっていきます。それが、この地域の良いところを守ることにつながると 생각합니다。僕はこれからもあいさつを続け、お世話になっているこの地域の良いところを守っていききたいです。